

図書館だより

大分県立芸術文化短期大学附属図書館

No.14 (2010.4.1)

情報化社会と読書

附属図書館長 根之木 英 二 (デザイン)

今日の情報化社会では私たちは様々な情報を容易に得ることのできるツールを手にしています。知りたい情報や疑問点について、キーワードを入力して検索しますと瞬時にコンピュータが沢山の回答を用意してくれまして、私たちはその中から求める答えや判断材料を得ています。情報は豊富に提供され、その幅広い選択肢の中から私たちは様々な可能性を考慮しつつ的確な判断や個性的な考え方の構築を行っている…と思いがちですが、どうもそうばかりとは言えないようです。情報が個人の許容範囲を超えて大量に提供されますと、かえって画一的な選択になってくる場合があるとのこと。それは、例えばレストランで食事をオーダーする時に、メニューの料理が30種類くらいでしたら内容や値段などを吟味しながら選択するのですが、それが、300種類もあった場合は選ぶ意欲と識別に対する自信が薄れて、「お勧めのメニューはどれですか？」と、他人の判断を仰ぐ場合があるように、大量の情報の選択肢の中では、個人が自己の判断を確信できなくなり結果的には一つの方向に流されて行くことがあるそうです。そのようにならないためにはどうすれば良いのか。この情報化社会の中にあって自分の頭脳で思考し、判断するためにはどうすれば良いのか。その方法の一つが本を読むことだと思います。

私が学生時代に読んだ本の中にゲーテの「ヴィルヘルム・マイスターの遍歴時代」があります。これは主人公ヴィルヘルムが息子を教育しながら旅をする物語ですが、ある天文学者の住む邸に迎えられた夜、ヴィルヘルムが天文台の上に立ち、夜空に輝く満天の星の壮麗さに驚嘆して、「この万有を前にして、おれはいつたい何ものなのだ。」と自問するシーンがあります。まだ学生であった私が社会という宇宙を見上げた時も、自分の存在の微小さに同じ気持ちになりました。現代の皆さんもまた、巨大な情報化社会に対置する時、同じような思いになるのではないのでしょうか。その時、ヴィルヘルムは思索を続け、無限なるものに立ち向かうには、自分の心を純粋に見つめて自分の中に宇宙の中心をつくることだと考えます。ヴィルヘルムのように実際の旅をすることは困難ですが、せめて読書を通じて一步一步考えながら、自分の中心の周りをねぼり強くまわる思考を呼びおこしたいものです。本学の図書館の約10万冊の本の世界を旅してみませんか。

目 次

図書館長からのメッセージ	1
図書館デビューへの道	2
図書館ホームページから蔵書検索ができます	4
私の図書館利用法	6
新入生へのおすすめの本	8
学生選書ツアーを開催しました	11
“図書館利用に関するアンケート” から	13
リクエストによる購入資料	16



図書館デビューへの道

スタート



- ・蔵書：図書 約10万冊、雑誌 約300種
CD・視聴覚資料 約1万点
- ・開館日：月曜日から金曜日
(休館日：土曜日・日曜日・国民の祝日など)
- ・開館時間：午前9時から午後7時
(夏期・冬期・春期の休業日は午後5時まで)
- ・図書館HP <http://www.oita-pjc.ac.jp/library/>

- ・バッグはロッカーへ
- ・学生証=図書館利用券を持って
- ・図書館利用ガイドで予習すると尚可

自分に合った使い方を

自分の本で勉強する



本を読む・借りる・調べる



情報収集・休憩・待ち合わせ



本を探すときは

とりあえず何か読む

書架を
直接見る

新着図書コーナー
HP「新着本一覧」



書名・著者名、テーマが決まっている

HPで蔵書検索



職員に相談
(レファレンス)

検索方法
→4~5ページへ

所蔵していなくても諦めないで

所蔵している

配架場所・
請求記号を確認



所蔵していない

リクエスト

最近の購入資料
→16ページへ

選書ツアーに参加



他の図書館に行く
他の図書館から借用

参加者の感想
→11~12ページへ

どこを探せばいいの？

他の図書館と同じように、本は「日本十進分類法」で分類されています。この分類法は、どんなテーマも0～9の数字で表し、本はその分類順に並んでいます。本学の図書館は、いくつかの小さな部屋に分かれているため、初めは、少しわかりにくいかもしれません。

●第1閲覧室（玄関入って左側）にあるもの

美術：700-759、音楽：760-769、楽譜：独自分類

●第2閲覧室（玄関入って右側）にあるもの

社会科学：300-399、自然科学・医学薬学：400-499
工業工学・生活科学：500-599、産業：600-699
芸術（美術・音楽除く）、スポーツ、諸芸：770-799
指定書、雑誌（最近1年分）

●第3閲覧室（2階）にあるもの

総記（コンピュータ関係資料を含む）：000-089
哲学・宗教：100-199、歴史・地理地誌紀行：200-299
言語：800-899、文学：900-999
郷土資料、参考図書（辞書・事典・地図類）

●第1書庫（2階）にあるもの

発行後相当期間を経た図書、雑誌のバックナンバー

誰が本を選んでいるの？

大まかに言えば、4学科の教員と図書館の職員が1/5ずつ分担して選んでいます。学科では専門分野の図書・雑誌・楽譜・CDなど、図書館では専門図書、教養書、小説や読み物などが中心です。

レファレンスって？

何か調べものをするときに、必要な資料や情報を入手するお手伝いをします。利用の仕方がわからない、資料が見つからないなど気軽にご相談ください。

県内の図書館の蔵書を調べるには？

■大分県大学図書館横断検索

<http://oudan.lib.oita-u.ac.jp/>

県内の大学図書館の蔵書検索ができます。

■大分県図書館横断検索

<http://library3.pref.oita.jp/>

県内の公立図書館の蔵書検索ができます。

■大分県立図書館

<http://library.pref.oita.jp/>

■大分市民図書館

<http://www.library.city.oita.oita.jp/>

調べ方をもっと知りたい

県外の図書館の所蔵、雑誌論文、新聞記事の調べ方は、図書館HP掲載の「リンク集」、「図書館だより」No.13（2009.12）をご覧ください。

休憩・息抜きのために

学術研究・教育用資料だけでなく、教養、娯楽や趣味に関する資料もあります。空き時間に楽しめるもの、よく利用されているものをご紹介します。

■漫画（貸出可）

『手塚治虫全集』全400巻、『ベルサイユのばら完全版』全9巻、『のだめカンタービレ』全23巻等。

■雑誌（バックナンバーは貸出可）

『NHKきょうの料理』、『ダ・ヴィンチ』、『エル・デコ』、『マリクレール日本版』、『CLASSY』、『アエラ』、『月刊シティー情報おおいた』等。

■CD（試聴室での試聴、貸出可）

クラシックが主ですが、ミスターチルドレン、スピッツ、スガシカオ、Coccoなどの邦楽やマイケル・ジャクソン、ビリー・ジョエル、マドンナ、ビートルズなどの洋楽もあります（ただし、ロック・ポップスは、少し古いものです）。

■DVD（試聴室での視聴のみ）

『誰も知らない』、『いのちの食べ方』、『崖の上のポニョ』など宮崎駿監督作品、『アメリカ』、『フラガール』、『善き人のためのソナタ』など。



■新聞（閲覧のみ）

『朝日』、『毎日』、『読売』、『日経』、『西日本』、『大分合同』、『International Herald Tribune/The Asahi Shimbun』。

図書館ホームページから蔵書検索ができます

検索画面を見てみよう

- 附属図書館ホームページにアクセスし、「蔵書検索」をクリックします。

<http://www.oita-pjc.ac.jp/library/>

■ 検索画面

「項目別検索」……タイトル、著者名、出版者などの項目ごとに条件を指定します。探している資料が決まっているときに向いています。

「キーワード検索」……項目の区別なく条件を指定します。資料を広く探したい場合に向いています。

「項目別検索」画面



「キーワード検索」画面



- 複数の単語をスペースで区切って入力するとAND検索になります。
- 各項目間はAND検索になります。
- 「資料区分」と「和洋区分」は範囲を絞りたいときにチェックします（最初は「全資料」になっています。）

村上春樹『海辺のカフカ』（新潮社）を探すときは

- 探している資料名がわかっているときは、項目別検索が向いています。
- タイトルで検索するには、「海辺のカフカ」のように漢字表記の完全形を入れるか、「カフカ」「海辺 カフカ」「ウミベ カフカ」のように漢字表記かヨミガナを単語で区切って入れます。
- 著者名で検索するには、「村上 春樹」「ムラカミ ハルキ」のように姓と名を区切って入れます。

認知心理学関係の資料を広く探したいときは

- あるテーマについての資料を探しているときは、キーワード検索が向いています。
- タイトル等に「認知」「心理」が付いていることが多いので、「認知 心理」と二語で入力するか、「認知」で検索した後に「心理」で絞り込み検索します。

☆検索の仕組みを知ろう ～検索機能を活用し、より正確な検索結果を得るために～

- ・【入力した言葉】と【資料データに付けられた検索用キーワード（インデクス）】とが完全に同じである場合に、その資料が表示されます。検索用キーワードに対する完全一致検索です。
- ・検索用キーワードは、検索システムが資料のデータ要素から一定の規則に従って自動的に作成します。その主なものは、タイトルの漢字表記の完全形、資料のデータ要素を単語に分けたもの、そのヨミガナです。

(例) 村上春樹『海辺のカフカ』（新潮社）の主な検索用キーワード

タイトル：「海辺のカフカ」「海辺」「の」「カフカ」「ウミベ」「ノ」「カフカ」

著者名：「村上」「春樹」「ムラカミ」「ハルキ」

出版社：「新潮社」

- ・「心理学」「人類学」等「〇〇学」の検索用インデクスは、漢字表記では「〇〇」「学」と二語になり、ヨミガナでは「〇〇ガク」と一語になります。

(例) 鹿取廣人『ことばの発達と認知の心理学』（東京大学出版会）のタイトル関係の主な検索用キーワード

「ことばの発達と認知の心理学」

「ことば」「の」「発達」「と」「認知」「の」「心理」「学」

「コトバ」「ノ」「ハッタツ」「ト」「ニンチ」「ノ」「シンリガク」

- ・単語の後に＊（アスタリスク）を付けると前方一致検索ができます。「心理＊」と入力すると「心理」「心理学」の両方を検索できます。検索用キーワードの単語の分け方に「ゆれ」感じる場合、前方一致検索を使うと漏れが少なくなります。

検索結果を見てみよう

- 中村澄子『できる人のTOEICテスト勉強法』（中経出版）を検索すると、「所蔵情報」に次のように表示されました。まず「ステータス」が「貸出可能」かどうかを確認します。次に配架場所と請求記号を見ます。

配架場所	請求記号	ステータス
第3閲覧室	830.7/N37	貸出可能

☆所蔵情報の見方

- ・【配架場所】
館内の部屋やコーナーの名称です。第1閲覧室、第2閲覧室、第3閲覧室、指定書、第1書庫などがあります。
- ・【請求記号】
図書の背に貼られてあるラベルの記号です。上段に日本十進分類法という多くの図書館で使われている分類法に基づく分類が記されています。
- ・【ステータス】
図書の状態を表します。「貸出可能」は書架にある状態、「貸出中」は他の人が借りている状態です。

私の図書館利用法

専攻科造形専攻 平成22年修了 濱田 恵理

私は、造形専攻科に所属しています。美術の作品集を見るために、よく図書館を利用しています。

ずらっと並んでいる作品集の中から目に留まったものを次から次に見ていくことはとても楽しいのでおすすめです。美術科の学生だけでなく、他の学科の学生の皆さんにもぜひこれをやっていただけたらと思います。手に取ったものがもし知らない作家の作品集であっても、きっと楽しんでいただけたらと思います。

私には好きな画家がいます。しかし、その画家の絵画集はこの図書館にはありませんでした。そこで私は、見たい画集をリクエストしました。すると、図書館の方が画集を取り寄せてくださりました。その画集は私のお気に入りです。今でも何回も何回も繰り返し見えています。皆さんもぜひ、気になる本があればリクエストしてみてください。

とくに読みたい本があるわけでもなく、何か調べ物をするわけでもなく、ふらーっと図書館に入ってしまうということが私にはよくあります。そうしてしまうのは、図書館がとても居心地の良い場所であるからだだと思います。

図書館は静かであり、また、空調設備が整っていて過ごしやすい環境です。そのようなことが、図書館が居心地の良い理由でもあると思います。しかしそれだけでなく、図書館という場所がとてもあたたかい場所であるということも居心地の良い理由であると私は思っています。図書館という場所にあたたかさを感じるのは、まず、図書館で働いておられる方々がいつもあたたかい笑顔で対応してくださること、つぎに、図書館の本からあたたかさを感じることからだと思います。ずらっと並んだ本の中にはとても古い本もあります。数えきれないほどの人たちがこの図書館の本を読んできた、そう思うと図書館の本には様々な人たちの様々な思いが詰まっているように思えます。本を手にとったとき、そしてその本を読み終えたとき、「これまでどんな人がこの本を読んで、どんな感想を持ったのかなあ」と私はよく考えます。私のお気に入りの本が、誰かのお気に入りの本でもあったなら、とても嬉しいです。

素敵な図書館へ、足を運んでみてください。きっと素敵な時間を過ごせると思います。



情報コミュニケーション学科 2年 岩下 加奈

私は高校生のときまであまり図書館を利用していませんでした。大学生になってから空き時間が多くなり、暇な時間が増えたので図書館に行くようになりました。

私は、図書館に入って必ず新着図書を見ます。新着図書の棚には、いろいろなジャンルの本が並べられていて、おすすめの本も置かれているので見るだけでも楽しいです。短期大学では、入学してからすぐに就職活動や編入学の準備がはじまるので、図書館で1年の頃から情報収集をしておくと思いいます。私はいつも図書館で、興味はあるけど買わない雑誌や本を読んでいます。文字ばかり読むのが嫌な時や、読みたい本がない時は、パソコンを使ったり、図書館にある漫画を読んだりして過ごしています。見やすいように並んでいるのであまり使いませんが、探している本が見つからない時は蔵書検索を

すると見つけやすくなります。図書館に課題などを持ち込んで勉強もできます。静かなので、勉強するにはとてもいいと思います。レポートを書くときには、図書館にあるパソコンも利用できるのも便利です。

この大学には4つの学科があって、高校までの図書館とは違う種類の本もたくさん置いてあります。今まで見る事がなかった専門書などを見ることができるととても楽しいです。図書館には、他にもたくさんのサービスがあります。図書館にない本を他の大学から送ってもらったり、図書館に入れてほしい本をリクエストできたりします。CDを聞いたりDVDを見ることも魅力的です。今、見ようと思っているDVDが図書館にあるので、時間があるときに見たいと思います。



新入生へのおすすめの本

※取り上げられた本は、附属図書館に所蔵もしくは所蔵予定です。

情報コミュニケーション学科

後藤武士『読むだけですっきりわかる日本史』
(宝島社文庫)

皆さんが生まれる少し前にアメリカでベストセラーになり、テレビ番組にもなった「ルーツ」という本があります。アフロアメリカンの著者アレックス・ヘイリーが自分の先祖を調べ、書き起こした大作です。誰にでも親があり、その血筋はどこまでも遡っていけます。皆さんの先祖は、日本の歴史のどこかに必ず生活していたのです。この本はその世界をコンパクトにまとめてくれています。

(メディア論/狩谷 新)

木全 賢『売れるデザインの発想法』
(ソフトバンク新書)

「空気と水はタダ」なんて戯言だ。でも、蛇口をひねるだけで安全な水が使えるのはなんと贅沢だと考えたことはあるだろうか？空気のような存在も比較する何かがあればその善し悪しや違いに気づける。視点を少し変える発想が大事だ。じゃあどうやって発想を膨らませるかといったときに身近なもののデザインを見ると面白い。同じものでも使いやすいか、ときには別物に見える。自分の視点や考え方を見直すきっかけにいかが？

(情報工学/吉岡 孝)

ミヒヤエル・エンデ『モモ—時間どろぼうとぬすまれた時間を人間にかえしてくれた女の子のふしぎな物語』
(岩波書店)

私にとってはとても身につまされる本です。「自分、じっくりと体験を味わう時間や考える時間を持つようよ！」という気持ちになります。カウンセラーとしては、モモのように聞き上手になるにはどうしたらいいのかね？などと考えさせられます。でも、この本を読んだからといって、どうしたらいいのかわかるものではないのでした。ともかく、私はモモのようでありたい。目標、モモ。

(臨床心理学/柴田 雄企)

沢木耕太郎『深夜特急』(新潮社)

ノンフィクションライターである著者が、デリーからロンドンまで乗合バスだけで旅をする紀行文です。行く先々で出会う人びとや出来事に、若く瑞々しい感性で向き合う姿が描かれています。この本を手にした当時、大学生だった私は長編を通読するのが苦手で、読書は不向きと思いついていましたが、満員電車で揺られながら夢中で読みました。私が著者と対話できた気がした最初の本です。

(地域社会学/高橋 雅也)

国際文化学科

網野善彦『日本中世の民衆像』(岩波新書)
笠松宏至『徳政令』(岩波新書)
(日本史/吉良 国光)

金谷治『中国思想を考える』(中公新書)
『地球の歩き方 6 中国』(ダイヤモンド社)
(中国哲学/鄧 紅)

夏目漱石『こころ』(新潮文庫・岩波文庫など)
高樹のぶ子『光抱く友よ』(新潮文庫)
(日本文学/野坂 昭雄)

矢口裕人『ハワイの歴史と文化』(中公新書)
赤嶺政信監修『沖縄の神と食の文化』(青春出版社)
(文化人類学/城田 愛)

田中日佐夫監修『すぐわかる 日本の美術』
(東京美術)
池田忍『日本絵画の女性像—ジェンダー美術史の視点から』
(ちくまプリマーブックス)
(日本美術史/水野 僚子)

初瀬龍平・平野健一郎ほか
『国際関係キーワード』(有斐閣 1800円)
ワールドカルチャーガイド・シリーズ
⑦『オーストラリア』、⑧『ニュージーランド』
⑫『タヒチ』、⑬『ミクロネシア』
(トラベルジャーナル)

(国際関係論・オセアニア研究/玉井 昇)

リチャード・ホーランド、マイク・バラ『NASA秘録』（学研）

美術科 鈴木 慎一

さて、今回はデザインの分野でも美術の分野でもない本を紹介させていただきます。人生も半ばあたりを過ぎますと、ちょっとやそつとでは興奮もおぼえないのですが、久しぶりの面白さに興奮してしまいました。そんな本好きなおっさんのつぶやきとして聞いて下さい。

NASAが画策する火星と月探査に秘された陰謀の内幕を大胆かつ詳細に暴露した「Dark Mission」（本書の原題）の日本語訳が昨年刊行されました。知る人ぞ知る、しかし、知らない人には全く無縁なこの本はアメリカ本国で出版が危惧されていたいわく付きの本なのでした。なぜ出版が危ぶまれていたのかは、NASAという機関が国防総省や諜報機関や秘密結社（組織）と密接にリンクされており、その情報が国防上の理由で我々には巧妙に隠蔽されているという事実を淡々とデータを交えながら公表したからに他なりません。「いやいやNASAというのは、アメリカの独立した科学技術団体じゃないの」と思う方が大多数だと思いますが（という私もそう思っていました）NASAは文民によるオープンな科学研究機関であるはずなのですが、法的には国防総省に直結しており、「現行法律第35編第17章にのっとり、合衆国の国防にたずさわる機関である」とか、「第205節：本節のもとで、国家の安全に関わる情報はいかなる公開文書にも記されない」と明記されているのです。以上はほんの一例で大統領と国防総省、諜報関連組織は今日に至るまでNASAのデータを公開するかしないかをずっと選別し続けていたのだと筆者は記していきます。

そもそものきっかけは、1976年6月、アメリカが打ち上げた火星探査機パイキングが火星のシドニア地区上空から撮影した「人面岩」の画像から始まります。当時、NASAはこの写真を隠すことなく公開し、光と陰のトリックであると説明しました。ホーランドも、NASAの言葉を鵜呑みにしていたのですが、その後、実際にはそれが事実ではなかったことを知ります。それは、このシドニア地区には、人面岩以外にもいかにも人工物を連想させる異状構造物がいくつも存在していたからです。しかもそれ

らが、互いに幾何学的に配置されていることも、です。その後、更なるピラミッド状構造物や、スフィンクスを彷彿とさせる構造までもが発見され地球の古代エジプト文明との関連性までもが論じられることとなりました。しかし、なぜ、そのような画像が公開されたのか？ホーランドによれば、NASA内部で真実を公開しようとする一派と隠蔽しようとする一派が対立しているからだと言います。それが本書の主題。

そのあたりの事情は本書にあますことなく記されているので興味のある方はご一読してください。

ここで、リチャード・ホーランドの経歴を紹介しておきますと、彼は18歳で、アメリカ、マサチューセッツ州の「スプリングフィールド科学博物館」の天文学と宇宙学の主事に抜擢されており23歳でCBSニュースの科学アドバイザーに。その後、NASAのゴダード宇宙飛行センターで、数年間コンサルタントとしての任に当たっています。分類としてはトンデモ系に入りますが、筆者の常に科学的に理路整然と持論を展開していく姿勢にはつつい引き込まれてしまいます。

（すずき しんいち/ビジュアルデザイン）



ジャン＝ジャック・エーゲルディング著、米谷治郎、中島弘二訳
『弟子からみたショパンーそのピアノ教育法と演奏美学ー』（音楽之友社）

金子建志

『こだわり派のための名曲徹底分析 ベートーヴェンの〈第九〉』（音楽之友社）

音楽科 石山 聡

今年2010年はショパン生誕200年に当たる年です。

ショパンについての本を推薦します。「弟子からみたショパンーそのピアノ教育法と演奏美学ー」、というタイトルで著者はジャン＝ジャック・エーゲルディング、米谷治郎、中島弘二訳、音楽之友社より刊行されています (Jean-Jacques EIGELDINGER : “CHOPIN vu par ses élèves (nouvelle édition remaniée)” フランス語版第三版、Neuchâtel, 1988より翻訳)。

この名著に出会ったのは僕が大学生の頃でした。西洋音楽史概論で講義をされていた田村進先生（東京音楽大学名誉教授、日本ショパン協会副会長）がこの本の中からショパンが語った言葉を引用されていたのがきっかけで購入したのだと思います。その後この本は絶版となり購入が不可能となっていました。2005年に「増補・改訂版」として復活しました。ショパンが弟子に語った様々な言葉、ショパンがレッスンで特にこだわった部分への楽譜に書き込んだ指使いや、強弱の指示、実際にショパンの演奏を間近で聴いた人々の感想等からなっています。ショパンの求めていた音楽が見えてくる名著だと思います。

「シラー作頌歌“歓喜に寄す”を終末合唱にした、

大管弦楽、四声の独唱、四声の合唱のために作曲され、プロイセン王フリードリヒ・ウィルヘルム三世陛下に最も深甚の畏敬をもって、ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェンによって奉呈された交響曲、作品125」

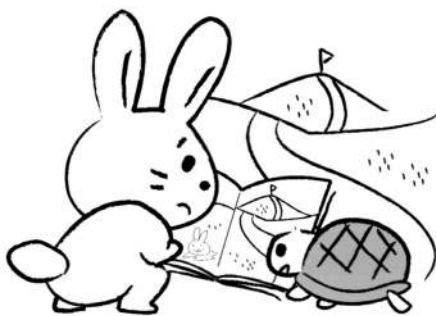
この長いタイトルは、ベートーヴェンの「第九」の正式名称です。1826年の初版の楽譜で一番大きく、美しく、かつ目立つように印刷されているのは、「プロイセン王フリードリヒ・ウィルヘルム三世陛下」という箇所、作曲者よりも、誰に献呈されたかということの方が、はるかに重要だった時代だからです。自筆総譜は2001年にユネスコの世界文化遺産に指定されました。

この「第九」についていろいろな角度から分析した書籍も推薦します。

『こだわり派のための名曲徹底分析 ベートーヴェンの〈第九〉』、著者は金子建志、音楽之友社より刊行されています。ウィルヘルム三世献呈稿から見た楽譜の問題点、慣用となっていた編曲の実態と問題点、新たに入手した資料から見た問題点、と三つの章から成っています。今後も歌い継がれていく「第九」像を更に深く考える書籍です。

以上二冊が学生に推薦する書籍です。

(いしやま さとし/ピアノ)



学生選書ツアーを開催しました

平成21年11月4日(水)、図書館の学生用図書を学生が書店に出かけ自分の目で選ぶ「学生選書ツアー」を開催しました。平成19年から始めて3回目です。今回は初めてジュンク堂書店大分店で行いました。

公募により選ばれた4名の学生(美術科2名、国際文化学科2名)が選書委員となり、約2時間、1人2万円程度の予算で、学科として必要な本、大学として必要な本、個人的に興味のある分野という視点から本を選びました。



その後、11月11日(水)に選書委員会を開き、学生選書委員が選んだ理由やおすすめのポイントを一人ひとりが発表するとともに、各学科の教員や図書館職員で構成される図書委員と意見交換を行いました。

選ばれた52タイトルのうち既に所蔵されている1冊を除く51冊は新着図書コーナー横の特設コーナーに配架されました。

今年度の学生選書ツアーは2回実施する予定です。学生選書委員への多数の応募をお待ちしています。



■ 学生選書ツアーに参加して

国際文化学科 2年 内田 久美子

私は前々から、図書館にある蔵書の偏りには不満を感じていた。辞書のように分厚い専門書、そこから動くのか疑問な全集、もっと学生に身近で手の届きやすい本が増えたら良いのに、と考えることがあった。そんな時に人文棟の掲示板で“学生選書ツアー”という企画を知った。

私個人としては、特に現代小説が少ないのではないかと、思っていたこともあって専門書というよりも現代小説をメインに選書することにした。

初めに、二万円という予算を提示された時には、「かなり余るかもしれないなあ」と心配になったものだが、実際にジュンク堂書店に行って選書を始めると、そんなのはただの杞憂に終わった。不思議といつも来ている書店なのに、“学生選書ツアー”で来

ているというだけで、全ての本が輝いて見えた。どの本も「僕を!私を!」と選ばれるのを待っているようで、気付くと本を入れる買い物かごは持ち上がらない程に重たくなってしまった。自分の好きな作家の本、今話題の本、文学賞をとった本、講義中の話に出てきた本、など学校に置きたい本は考えているよりずっと多かった。

選び終えてみると、二万円という予算も軽くどころか、かなりオーバーしていた。そこで「私だけが読むんじゃないんだから、他の人にもちゃんと読んでほしいものを選ぶのよ!」と考えて、選書した本をもう一度選書し直した。そこで、再度計算してみると二万二千元程度の値段になっていた。一緒に選書ツアーに参加していた友人は、選び終えたところ

で一万八千円になったらいい。となると、丁度いいじゃないかと思いき二時間程度の選書を終えた。

自分が選んだ本を誰かに読んでもらうというのは思いの外嬉しいものである。その人が面白いと思う

かどうかは別にして、手にとってもらえたなら、少しでも興味を持ってもらえたなら、この企画に参加して本当に良かったと思える。



■ 学生選書ツアーに参加して

美術科 平成22年卒業 林 田 晴 菜

昨年の11月に行われた「学生選書ツアー」に、参加した。私はデザインを専攻しており、ソフトウェアの勉強やアイデアの発想を練る時など、よく図書館を利用する。デザイン関連の書籍は割高であり、なかなか手を出し難いので、リクエスト制度には助かっている。今回選んだ5冊は全てデザイン関連であり、デザイン分野のみに活用が限られるという点で他の学科生に申し訳ないのだが、ピー・エヌ・エヌ新社のLayout rule indexは、パワーポイントやワード、web デザインなどの画面構成を考える際、全ての学生に役立つと思う。もちろん、美術科のポートフォリオ制作にも使える。

この2年間、図書館に通い続けて気づいたのだが、人で混み合うことが全くなかった。「もう閉館時間かな？」と思うほど人が少ないのだ。しかも顔ぶれが大体決まっている(気がする)。利用者が少ないので借りたい本が確実に借りられるという意味ではありがたいのだが、本を開いた痕の折り目もない新品同然の本達を見ていると、切ない思いに駆られる。

空いた時間に情報処理演習室に行くと、大勢の学生が能動的にパソコンを使用している。情報化時代

に生きる私たちにはソフトウェアの扱いは必要不可欠だ。インターネットという雑多な情報の中から必要なものを取捨選択する力も、大事であると言える。しかし、活字を一字ずつ丹念になぞってゆくあの感覚を、忘れてはいないだろうか。

この図書館だよりに目を通していているということは、あなたは図書館に少なくとも興味があるのだろう。しかし、私が呼びかけたのはあなたではない。あなたのまわりにいる、図書館に足を踏み入れたことのない学生に用がある。残念なことに、そういった学生は図書館だよりを読まない。私がここに「選書ツアーで〇〇という本を選びました。皆さん見てください」と書いたところで、図書館利用者の少なさは変わらないわけである。学生選書ツアーは、そもそも活字離れをした学生に図書館利用を呼びかけるために実施された策の一つである。(今回集まったのは活字好きばかりだった。)自分の財布と相談せずに本を選べる楽しさは、滅多に味わえるものではない。今後も継続するそうなので、「あなたのまわりにいる、図書館に足を踏み入れたことのない学生」を誘い合わせの上、是非参加して欲しい。

“図書館利用に関するアンケート” から

利用しやすい、親しみやすい図書館づくりをめざして、サービス向上を図るための基礎資料を得ることを目的に平成21年10月、全学生を対象とした「図書館利用に関するアンケート」を実施しました。このたび、調査の結果がまとまりましたので、お知らせします。

アンケートにご協力くださった学生の皆さん、本当にありがとうございました。

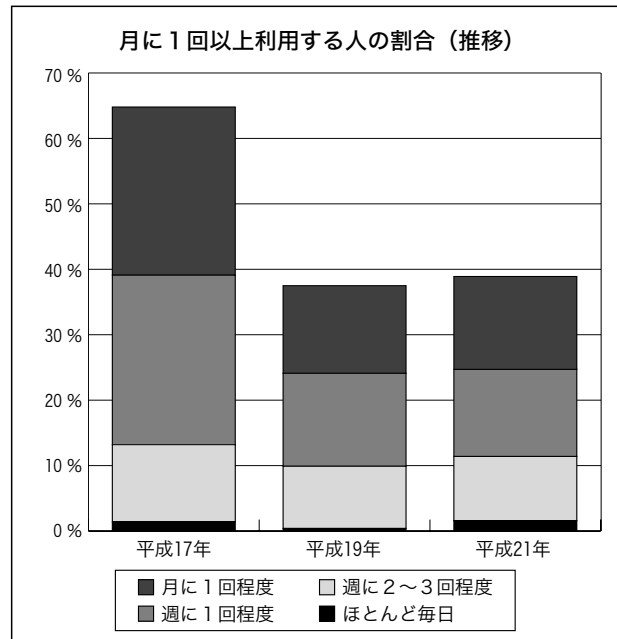
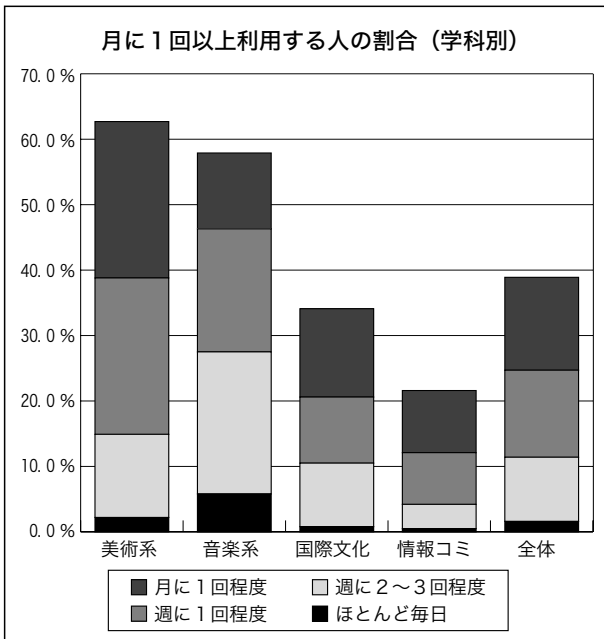
1. 回答者の概要

回答者総数は632名で、平成21年9月の在学者数（専攻科含む）940名に対して67.2%の回答を得ました。各学科の回答率は美術68.6%、音楽40.8%、国際文化94.4%、情報コミ67.9%、専攻科造形47.4%、専攻科音楽15.9%です。回答総数の内訳は美術+専攻科造形21.2%、音楽+音楽専攻10.9%、国際文化37.5%、情報コミ30.1%、無回答0.3%で、音楽+音楽専攻の割合が小さくなっています。学年構成は、1年生51.1%、2年生43.2%、専攻科1年生3.3%、専攻科2年生2.1%です。

2. 利用状況

月に1回以上利用する人は、平成19年37.5%から平成21年38.9%と微増です。学科別に見ると、月に1回以上利用する人は、美術系62.7%、音楽系60.0%、国際文化34.2%、情報コミ21.6%となり、学科間に大きな差が出ています。

ほとんど利用しない人・全く利用しない人（94.5%が人文系）の利用しない理由（複数回答）は、利用する時間がない34.2%、図書館を使う必要がない24.7%、図書館に入りにくい20.5%、自分で購入している19.2%、公共図書館などを利用している16.4%、図書・雑誌があまり揃っていない10.3%、その他（遠い・使い方がわからないなど）12.3%などとなっています。



3. 開館日・開館時間・貸出冊数・貸出期間

開館日（複数回答）については、現状でよい65.3%、土曜日でも開館してほしい32.4%、日曜日でも開館してほしい13.4%などです。利用が多いほど土・日開館の要望が強い傾向があります。

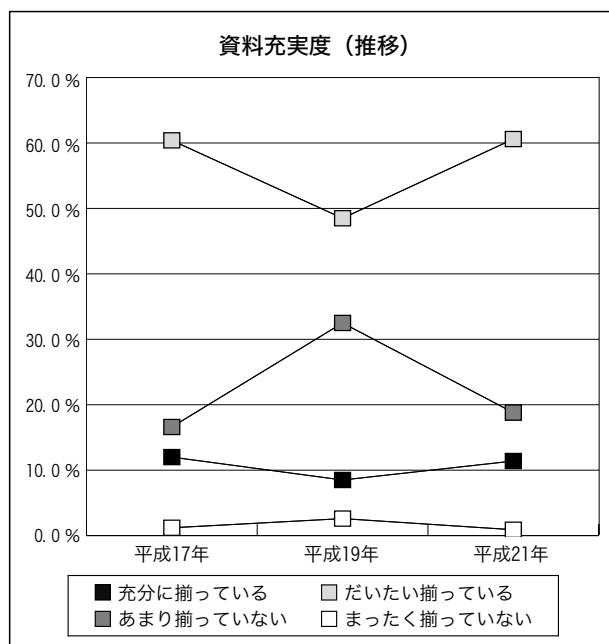
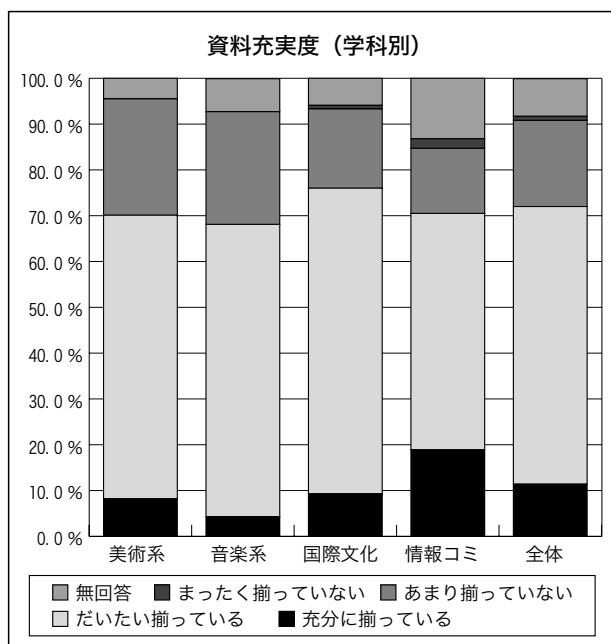
土・日に開館した場合、月に1回以上利用する人は、31.2%です。現在、7月と1月の定期試験直前の土曜日に試行的に開館していますので、ぜひ利用してください。

開館時間（複数回答）については、現状でよい81.8%、開館時間延長10.6%（希望は20時、21時）、試聴室時間延長5.2%（希望は18時から21時）などです。音楽系に変更希望が多く、開館時間延長17.4%、試聴室時間延長30.4%となっています。

貸出冊数（複数回答）については、現状でよい92.6%、図書変更2.7%、CD変更2.4%（希望は3枚から5枚）、その他1.1%です。

貸出期間（複数回答）については、現状でよい86.2%、図書変更2.5%、CD変更1.7%（希望は3日から7日間）、楽譜変更2.2%（希望は2日から7日間）、その他1.3%です。

4. 資料



必要な資料（複数回答）については、専門図書66.0%、教養や趣味のための図書35.9%、専門雑誌27.1%、事典・辞典・年鑑などの参考図書26.6%、教養や趣味のための雑誌21.2%、新聞13.9%、DVD11.1%、CD10.1%と続きます。

必要とする資料の充実度は、十分に揃っている11.4%、だいたい揃っている60.6%、あまり揃っていない18.8%、まったく揃っていない0.9%です。「だいたい揃っている」は、平成19年48.5%から平成21年60.6%へ回復し、「あまり揃っていない」は、平成19年32.5%から平成21年18.8%へ減少しました。

不足している資料については、音楽系では楽譜、CD、教職関係、芸術系ではデザイン系の図書・雑誌、画集、作品制作の参考になる写真集や図鑑、デザインソフトの解説書、小説、国際文化では小説、日本の伝統文化、美術史、国際関係の専門図書、情報コミでは小説、検定の参考書、趣味の図書・雑誌などが挙げられました。こうした資料ニーズに応えられるよう学内の図書委員会で資料収集のあり方を協議していきます。

5. 行事・イベント、施設・設備

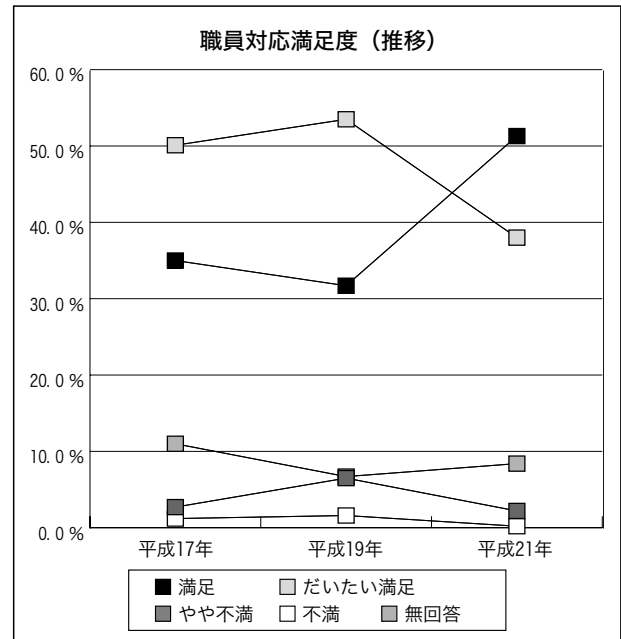
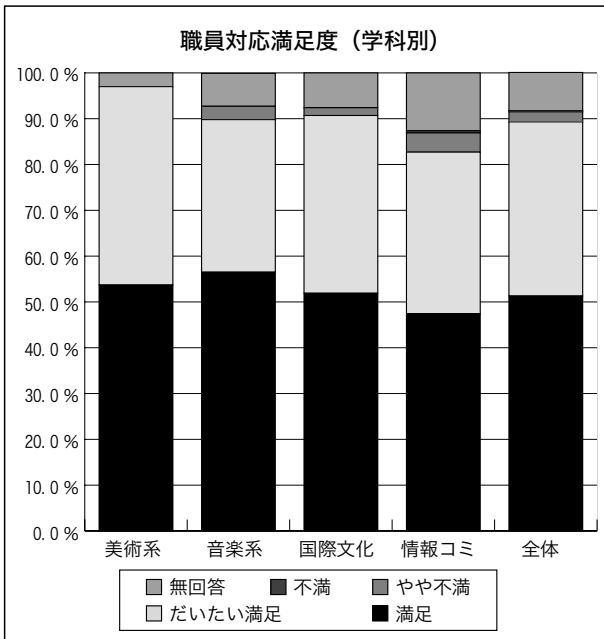
実施してほしい行事・イベントについては、資料の探し方の講習会8.7%、他大学や公共図書館の見学会14.7%、図書委員会活動15.7%となりました。いずれも、必要なときだけ利用する人、ほとんど・一度も利用したことがない人が40%前後含まれ、利用の下地になる可能性があります。参加しやすい形態を工夫しながら実施を検討していきます。

施設や設備（複数回答）については、現状でよい50.0%、館内にカバンを持ち込みたい27.8%、ソファー

や談話室などくつろげる場所が少ない15.3%、自由に利用できるパソコンの設置9.5%、机・椅子が少ない9.2%などです。

館内へのバッグ持ち込み禁止により不便をおかけして、申しわけありません。残念なことに毎年、楽譜、CD、図書など多くの資料が行方不明になり、学生や先生が必要なとき利用できずに困っています。こうした事態をできるだけ少なくすることを優先し、資料を無断で持ち出しにくいよう館内へのバッグ持ち込みを禁止しています。

6. 職員



職員の対応については、満足51.3%、だいたい満足38.0%、やや不満2.2%、不満0.2%です。平成17年の満足35.0%、だいたい満足50.1%、やや不満2.7%、不満1.2%、平成19年の満足31.7%、だいたい満足53.5%、やや不満6.5%、不満1.6%に比べて、満足度が大幅に上がりました。気持ちよく利用してもらえるように、更なる向上を目指していきます。

やや不満の14人、不満の1人について利用頻度を見ると、必要なときだけ利用するか、ほとんど利用しない学生が主でした。改善すべき点として、「もっと話しかけやすくなってほしい」「もっと優しくなってほしい」「質問にわかりやすく答えてもらいたい」などが挙げられています。親切に接することはもちろん、慣れない方でも使いやすい環境を整えていきます。

7. 図書館に対する意見・要望

図書館に対する意見・要望を自由記述式で尋ねたところ、資料に関するもの19件、かばん持ち込み4件、開館日・開館時間3件、コピー値下げ2件、DVD貸出2件、貸出期間延長2件などが寄せられました。

このほかに、図書館・職員に対する感謝・励ましの言葉が13件もあり、職員一同感激しています。ありがとうございました。

このアンケートの回答で実行可能なものは順次実施し、図書館の運営に反映していきます。なお、アンケートの結果の詳細は、図書館で見ることができます。関心のある方はぜひご覧ください。

※複数回答の場合は、回答総数632名のうち、その回答を選んだ人の割合です。

リクエストによる購入資料 (平成21年度下半期)

時期	タイトル	著者	出版社
10月	トーマの心臓	萩尾望都原作 / 森博嗣著	メディアファクトリー
11月	継続する植民地主義 表象の限界 フジテレビ 全仕事 RDG レッドデータガール2 はじめてのお化粧品	岩崎稔 [ほか] 原 仁 司 フジテレビジョン 萩原規子	青 弓 社 御茶の水書房 扶 桑 社 角 川 書 店
12月	日本の広告会社 2010 アドガイド 映像作家 100人 2009 CG プロダクション & クリエイター 2009 ベビーブーム トワイライト 8~12 Dreamweaver 逆引きデザイン事典 世界遺産概論 (上・下) 沖縄 問いを立てる (全6巻) 植民者へ	宣伝会議 古屋藏人 [ほか] WORKS BOOKS ポートフォリオコレクション 横 山 裕 一 ステファニー・メイヤー 土岩史幸 [ほか] 古 田 陽 久 屋嘉比取 [ほか] 野 村 浩 也	宣 伝 会 議 ビー・エヌ・エヌ新社 ワークスコーポレーション イースト・プレス ヴィレッジブックス 翔 泳 社 シンクタンクせとうち総合研究機構 社 会 評 論 社 松 籟 社
1月	Percussion XX(CD) 表象の現代 トワイライト 13	Jonathan Faralli 関礼子、原仁司 ステファニー・メイヤー	Arts Music 翰 林 書 房 ヴィレッジブックス
2月	浮世夢幻打楽 (CD) JAPANESE DRUM ENTERTAINMENT(CD) 神楽三十三番	TAO TAO 後 藤 俊 彦	TAO ENTERTAINMENT TAO ENTERTAINMENT 鉦 脈 社
3月	新365日空の旅：かけがえのない地球 地球を救う365の方法 混浴温泉世界：場所とアートの魔術性	ヤン・アルテュス=ベルトラン フィリップ・ブルセイエ BEPPU PROJECT	ピエ・ブックス ピエ・ブックス BEPPU PROJECT

リクエストについて…

図書館に所蔵のない本で、読みたい本や、購入して欲しい本があった場合、希望により購入することができます。
購入して欲しい本のある方は、お気軽にカウンターまでおいでください。

大分県立芸術文化短期大学附属図書館

図書館だより No.14

発行日 2010年(平成22年)4月1日発行
 編集・発行 大分県立芸術文化短期大学図書委員会
 大分県立芸術文化短期大学附属図書館
 〒870-0833 大分市上野丘東1番11号
 電話：(097) 545-4235
 ウェブサイト：<http://www.oita-pjc.ac.jp/library/> (図書館)
<http://www.oita-pjc.ac.jp/library/dayori/> (図書館だより)
 イラスト：美術科副手(デザイン) 河野 真由美
 印刷 小野高速印刷(株)